

中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

|      |              |    |    |
|------|--------------|----|----|
| 所属   | 文学部          | 身分 | 教授 |
| 氏名   | 眞鍋 倫子        |    |    |
| NAME | Rinko Manabe |    |    |

中央大学特定課題研究費による研究期間終了に伴い、中央大学学内研究費助成規程第15条に基づき、下記のとおりご報告いたします。

1. 研究課題

地方都市における専門学校利用のジェンダー差に関する調査研究

---

2. 研究期間

2021・2022年度

---

3. 費目別収支決算表

掲載省略

4. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）東京大学社会科学研究所のデータアーカイブからデータをお借りして、地方と都市部の高校生の進路選択における専門学校への重みや進路選択の要因について、検討を行った。その結果、専門学校利用層は、経済的・学力的に大学を選択しないだけでなく、手に職をつけることや大学への価値を見出さないという点でも特徴的であることが分かった。また、特に女性においては地元に残るといった意識を持つ者がいることが分かった。日本教育社会学会で発表を行うとともに、および当該研究所の成果報告会での発表、報告書の刊行があった。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大との関係もあり、新潟の専門学校の協力を得ることが出来ず、十分に研究を進めることはできなかったが、埼玉、京都での新規の研究協力校を獲得し、来年度の科研につなげる予定である。

また、これまでに行った東京都内の3つの専門学校について、データを集計するとともに、2年目の質問紙およびインタビュー調査を実施した。これらの結果については、データクリーニングを終えるところまでしかできなかったが、今後、継続して分析を行う予定である。

現在の時点で、大学との対比で、むしろきちんと勉強したいというような意欲のある層の存在や、就職において、一部の学校においてジェンダーにかかわる指導があるといった点が指摘されると思われる。

（英文）

Due to the spread of the novel coronavirus infection, it was not possible to obtain the cooperation of a vocational school in Niigata, and to advance research sufficiently. However, I plan to acquire new research cooperation schools in Saitama and Kyoto, which will lead to KAKEN next year.

In addition, data were collected from three vocational schools in Tokyo, and questionnaires and interviews were conducted for the second year. Although data cleaning was only completed for these results, the analysis will be continued in the future.